

# 千葉県立病院改革プラン（素案）

(様式3)

## 公立病院改革プランの概要(7病院合計)

全体的な病院局の考え方、計画を記載したものである							
団 体 名	千葉県						
プ ラ ン の 名 称	千葉県立病院改革プラン						
策 定 日	平成 年 月 日						
対 象 期 間	平成21年度 ~ 平成23年度						
病院の現状	病 院 名	各病院の個票に記載					
	所 在 地						
	病 床 数						
	診 療 科 目						
公立病院として今後果たすべき役目 (注)詳細は別途添付	<p>県保健医療計画において県立病院が担うべき役割が明らかにされているので、この役割が果たせるよう努めていく。</p> <p>がんや循環器などの高度専門医療の最後の砦としての役割を担っていくとともに、また、三次救急医療など全県下(複数圏域)を対象とした医療を提供する役割を担っていく。また、高度専門的見地から地域の医療機関への支援や、今後の医療のモデルとなるべき先進的な取組み等も県立病院が担っていく。</p> <p>地域医療を担っている病院については、県保健医療計画に基づく新たな地域医療提供体制が整うまでは、その役割を可能な限り果たしていく。</p>						
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別途添付	<p>病院事業会計への繰入金は、総務省通知「地方公営企業繰出金について」に準拠しつつ、本県の特長(県行政の政策的経費等)を考慮し、財政当局と協議のうえ、基準を設けて一般会計から繰り入れを受けている。</p> <p>高度医療に要する経費 救急医療の確保に要する経費 精神病院の運営に要する経費 小児医療に要する経費 病院の建設改良に要する経費 等</p>						
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
		各病院の個票に記載					
上記目標数値設定の考え方	各病院の個票に記載						
	(経常黒字化の目標年度: 年度)						

				団体名 (病院名)	千葉県								
公立病院としての医療機能にか かる数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考						
		各病院の個票に記載											
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての 具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	各病院の個票に記載										
		事業規模・形態の見直し											
		経費削減・抑制対策						7病院の個票に共通して記載されている事項					
		収入増加・確保対策						〔委託契約の見直し(一括契約、複数年契約等)により費用の削減を図る。医薬品・診療材料について、県立病院間での共同購入の拡大により費用の削減を図る。〕					
		その他						〔早期に患者さんの相談に乗ることで未収金の発生防止に努めるとともに、定期的な催告行い、未収金の回収に努める。〕 〔医師をはじめ医療従事者の研修・学会等への参加を積極的に促し、計画的な人材の育成を図ることで医療技術の向上に努め、経営基盤の強化を図る。〕					
各年度の収支計画		別紙1のとおり											
その他特記事項	病床利用率の状況	各病院の個票に記載											
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の 抜本見直し、施設の増改築計画の状況												

団体名 (病院名)	千葉県
--------------	-----

再編ネットワークに係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	東金病院、佐原病院の個票に記載
	都道府県医療計画等における今後の方向性	
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1.詳細は別途添付 2.具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること	
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に☑を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 一部組合・広域連合
	経営形態の見直し (検討)の方向性 (該当箇所に☑を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 診療所化 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外への事業形態への移行
	経営形態の見直しの概要 (注) 1.詳細は別途添付 2.具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること	<p>平成20年11月の「千葉県立病院将来構想検討会」報告では、「今後も県保健医療計画に基づいて、各県立病院の役割を十分担っていくためには、医師確保をはじめ弾力的な人員確保や経済的に有利な契約方法の実施など、効率的な運営方法が可能となるよう、現在の県立病院の機能を一番発揮しやすい経営形態を幅広く検討し、今後の組織形態の適切な選択を行うべき。</p> <p>特に、非公務員型の地方独立行政法人については、今までの地方公営企業法全部適用と異なる形態として、経営の各場面でその効果が発揮できる効率的経営形態の側面が多いので、移行を積極的に検討すべき。」とされている。</p> <p>そこで、今後、先行事例の研究、各経営形態への移行に当たっての課題等の整理を行い、経営形態の見直しについて検討していく。</p>
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会を設置する場合その概要)	外部有識者等で構成する委員会を設置し、毎年度の決算に併せて、改革プランの取り組み状況について点検・評価・公表を行う。
	点検評価の時期 (毎年〇月頃等)	委員会での審議を経て、毎年9月に公表する。
その他特記事項		

(別紙1)

団体名(病院名)

7病院合計

## 1. 収支計画(収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 医 業 収 益 a		26,012	26,649	27,170	28,492	28,839	29,430
	(1) 入 院 収 益		18,900	18,805	19,219	20,275	20,454	20,914
	(2) 外 来 収 益		6,704	7,436	7,572	7,804	7,988	8,118
	(3) そ の 他		408	407	380	415	398	398
	うち他会計負担金		0	0	0	0	0	0
	2. 医 業 外 収 益		8,840	8,785	9,260	9,274	9,275	9,677
	(1) 他 会 計 負 担 金 ・ 補 助 金		8,459	8,520	8,916	9,037	9,037	9,439
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金		59	29	23	24	24	24
	(3) そ の 他		322	236	321	214	215	215
	経 常 収 益 (A)		34,852	35,434	36,430	37,766	38,115	39,107
支 出	1. 医 業 費 用 b		34,760	35,285	36,278	37,711	37,424	37,856
	(1) 職 員 給 与 費 c		17,134	17,656	18,367	19,022	18,969	19,371
	(2) 材 料 費		8,950	9,208	9,129	9,382	9,461	9,568
	(3) 経 費		5,873	5,802	6,136	6,536	6,315	6,291
	(4) 減 価 償 却 費		2,653	2,442	2,491	2,597	2,522	2,478
	(5) そ の 他		150	177	156	174	156	148
	2. 医 業 外 費 用		1,425	1,103	1,155	1,021	977	968
	(1) 支 払 利 息		750	723	661	642	603	594
	(2) そ の 他		675	380	494	379	374	374
	経 常 費 用 (B)		36,184	36,388	37,433	38,731	38,400	38,824
経 常 損 益 (A) - (B) (C)		1,333	954	1,004	965	286	284	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)							
	2. 特 別 損 失 (E)							
	特 別 損 益 (D) - (E) (F)							
純 損 益 (C) + (F)		1,333	954	1,004	965	286	284	
累 積 欠 損 金 (G)		23,053	24,009	25,015	25,980	26,266	25,982	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)		17,852	19,891	21,724	23,092	24,801	26,587
	流 動 負 債 (イ)		14,607	15,941	16,995	17,828	18,358	18,712
	うち一時借入金		0	0	0	0	0	0
	翌 年 度 繰 越 財 源 (ウ)		17	0	0	0	0	0
	当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 ま た は 未 発 行 の 額 (エ)		0	0	0	0	0	0
差 引 不 良 債 務 (オ) {(イ) - (エ)} - {(ア) - (ウ)}		3,228	3,949	4,729	5,264	6,443	7,875	
経 常 収 支 比 率 (A) ÷ (B) × 100		96.3	97.4	97.3	97.5	99.3	100.7	
不 良 債 務 比 率 (オ) ÷ (a) × 100		12.4	14.8	17.4	18.5	22.3	26.8	
医 業 収 支 比 率 a ÷ b × 100		74.8	75.5	74.9	75.6	77.1	77.7	
職 員 給 与 対 医 業 収 益 比 率 (c) ÷ (a) × 100		65.9	66.3	67.6	66.8	65.8	65.8	
地 方 財 政 法 施 行 令 第 19 条 1 項 に よ り 算 定 し た 資 金 の 不 足 額 (H)		0	0	0	0	0	0	
資 金 不 足 比 率 (H) ÷ a × 100		0	0	0	0	0	0	
病 床 利 用 率								
職 員 給 与 費 の うち 退 職 給 与 金		582.811	935.884	734.866	909.284	657.144	795.429	

病院局経営管理課を含めた純損益は、19年度 1,439百万円が23年度は 436百万円と7病院合計では黒字となるが、病院局全体では赤字となっている。同様に累積欠損金は19年度25,897百万円が23年度は30,850百万円、不良債務は19年度 2,061百万円が23年度は 2,980百万円となる。

団体名(病院名)	7病院合計
----------	-------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収入	1. 企業債		1,573	2,323	1,860	1,607	2,169	1,495
	2. 他会計出資金		0	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金		1,424	1,350	1,254	1,643	1,413	1,686
	4. 他会計借入金							
	5. 他会計補助金							
	6. 国(県)補助金		0	0	6	0	0	0
	7. その他		7	1	1	0	0	0
	収入計(a)		3,003	3,674	3,121	3,250	3,582	3,181
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額(b)		6	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度の借入分(c)		0	0	0	0	0	0
純計(a)-[(b)+(c)](A)		2,997	3,674	3,121	3,250	3,582	3,181	
支出	1. 建設改良費		1,714	2,049	1,604	1,779	2,413	1,723
	2. 企業債償還金		2,025	2,443	2,219	2,637	2,316	2,881
	3. 他会計長期借入金返還金		80	80	80	30	30	30
	4. その他		0	0	0	0	0	0
	支出計(B)		3,820	4,572	3,902	4,445	4,759	4,634
差引不足額(B)-(A)(C)		822	898	781	1,196	1,176	1,453	
補てん財源	1. 損益勘定留保資金		821	843	781	1,196	1,176	1,453
	2. 利益剰余金処分額		0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金		0	53	0	0	0	0
	4. その他		1	2	0	0	0	0
計(D)		822	898	781	1,196	1,176	1,453	
補てん財源不足額(C)-(D)(E)		0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 または未発行の額(F)								
実質財源不足額(E)-(F)		0	0	0	0	0	0	

病院局経営管理課を含めた資本的収支不足額補てん後の損益勘定留保資金の残高は、19年度2,061百万円が23年度は2,980百万円となる。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収益的収支	( 112 ) 8,459	( 86 ) 8,520	( 118 ) 8,916	( 130 ) 9,037	( 121 ) 9,037	( 121 ) 9,439
資本的収支	( ) 1,424	( ) 1,350	( ) 1,254	( ) 1,643	( ) 1,413	( ) 1,686
合計	( 112 ) 9,883	( 86 ) 9,870	( 118 ) 10,170	( 130 ) 10,680	( 121 ) 10,451	( 121 ) 11,126

(注)

- ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局通知)に基づき、他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

(様式3)

## 公立病院改革プランの概要

団 体 名		千葉県					
プ ラ ン の 名 称		千葉県立病院改革プラン					
策 定 日		平成 年 月 日					
対 象 期 間		平成 21 年度 ~ 平成 23 年度					
病 院 の 現 状	病 院 名	千葉県がんセンター					
	所 在 地	千葉市中央区仁戸名町666番地の2					
	病 床 数	341床					
	診 療 科 目	内科、呼吸器科、消化器科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科、麻酔科					
公立病院として今後果たすべき 役目 (注)詳細は別途添付		<p>都道府県がん診療連携拠点病院として、県内がん診療の均てん化やレベルアップに取組み、先進的ながん医療の拠点としての機能を担っていく。そして、地域がん診療連携拠点病院の連携強化を図るとともに、専門的ながん医療を行う医師・看護師・薬剤師等を対象とした研修機能や情報提供、症例相談や診療支援機能を担うなど、県内がん対策推進の中心的な役割を果たしていく。</p> <p>さらに、千葉県のがん医療の最後の砦として、先端・高度ながん治療や低侵襲治療を提供するとともに、研究局と診療部門が連携した研究・開発による診療の質の向上に努め、全県的な立場から、がんの循環型地域医療連携システムを補完・拡充する役割を担うこととしている。</p>					
一般会計における経費負担の考 え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別途添付		<p>病院事業会計への繰入金は、総務省通知「地方公営企業繰入金について」に準拠しつつ、本県の特長(県行政の政策的経費等)を考慮し、財政当局と協議のうえ、基準を設けて一般会計から繰り入れを受けている。</p> <p>高度医療に要する経費 建設改良に要する経費 等</p>					
経 営 効 率 化 に 係 る 計 画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備 考
	経 常 収 支 比 率	103.5	103.4	103.3	105.3	105.3	
	医 業 収 支 比 率	82.9	83.1	83.2	84.9	84.9	
	純 医 業 収 支 比 率	84.3	84.2	85.1	86.0	86.2	
	職 員 給 与 比 率	52.8	54.8	54.6	53.5	53.7	
	材 料 費 比 率	39.0	38.0	38.7	38.6	38.5	
	薬 品 費 比 率	29.6	28.5	30.1	30.0	30.0	
	経 費 比 率	20.2	19.8	19.1	18.8	18.6	
	減 価 償 却 費 比 率	7.8	6.9	7.0	6.3	6.3	
	繰 入 金 対 医 業 収 益	25.6	25.1	25.0	24.9	24.9	
	病 床 利 用 率	79.5	80.3	80.9	81.1	81.1	
	新 入 院 患 者 数	6,813	7,200	7,300	7,400	7,500	
	新 外 来 患 者 数	5,793	6,300	6,600	6,800	7,000	
	延 入 院 患 者 数	99,237	99,905	100,706	101,000	101,000	
	延 外 来 患 者 数	114,885	120,846	124,974	122,500	120,000	
	平 均 在 院 日 数	14.5	14.5	13.5	13.0	12.5	
	患 者 1 人 当 り 入 院 収 益	47,188	48,610	51,686	51,725	51,763	
患 者 1 人 当 り 外 来 収 益	27,070	28,760	28,899	29,600	30,300		
1 日 平 均 入 院 患 者 数	272	274	276	277	277		
1 日 平 均 外 来 患 者 数	388	412	427	417	407		
上記目標数値設定の 考え方		<p>経常収支は黒字化しているもので、引き続き新規患者の受入拡大に努め、計画期間中、この水準を維持するよう努める。</p> <p>(経常黒字化の目標年度: - 年度)</p>					

純医業収支比率は、一般会計繰入金や退職給与金など病院事業に直接関わらない、また年度間で変動が多く(特殊要因となる収益や費用をそれぞれ総収益、総費用から除いた収支比率として、経営指標の一つとして考えているものです。 純医業収支比率 = (総収益 - 一般会計繰入金 - 特別利益) ÷ (総費用 - 退職給与金 - 特別損失) × 100

				団体名 (病院名)	千葉県 (千葉県がんセンター)		
公立病院としての医療機能にか かる数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
常勤医師数		80	86	85	85	85	
手術件数		3,374	3,406	3,438	3,470	3,500	
紹介率		94.5	94.8	95.0	95.2	95.4	
外来化学療法件数		11,537	14,491	15,122	16,629	18,075	
放射線治療件数		19,784	20,925	22,066	23,207	24,348	
地域連携クリティカル パス適用件数		106	432	545	603	686	
在宅緩和ケア連携件 数		387	532	634	787	841	
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	医師を経営戦略部長として配置し、医療の充実など病院の経営戦略に取り組んでいく。				
		事業規模・形態の見直し	施設の老朽化・狭隘化により、早急に建替・改築が必要であり、この検討に合わせて病床数の適正化を図る。				
		経費削減・抑制対策	DPCの分析等により、より効率的に医療資源を投入し、経費の削減を図る。 委託契約の見直し(一括契約、複数年契約等)により費用の削減を図る。 医薬品・診療材料について、県立病院間での共同購入の拡大により費用の削減を図る。				
		収入増加・確保対策	前方連携・後方連携等の地域医療連携の拡充に努め、急性期病院としての機能強化を図るとともに、患者数及び収入の増加を図る。 医事業務の見直し(一部直営化)により、DPCに対応したよりの確な請求事務の運営を図る。 医師の事務補助機能を整えることにより医師の負担を軽減し、本来の医療業務の充実と収入の増加を図る。 早期に患者さんの相談に乗ることで未収金の発生防止に努めるとともに、定期的な催告行い、未収金の回収に努める。				
		その他	医療安全の徹底を図ることにより、より効果的な医療の実現を目指す。 医師をはじめ医療従事者の研修・学会等への参加を積極的に促し、計画的な人材の育成を図ることで医療技術の向上に努め、経営基盤の強化を図る。				
各年度の収支計画		別紙1のとおり					
その他特記事項	病床利用率の状況	17年度 86.8%	18年度 81.1%	19年度 79.5%			
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況	老朽化した施設の改築等については今後具体的な検討を進めていく。 病床数については、DPC、クリティカルパスの活用等により入院から外来への患者のシフトが進んでおり、適正な医療資源の配分の観点から見直しをしていく。					



団体名 (病院名)	千葉県 (千葉県がんセンター)
--------------	--------------------

再編ネットワークに係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況			
	都道府県医療計画等における今後の方向性			
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1.詳細は別途添付 2.具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること	< 時期 >	< 内容 >	
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 独立行政法人
	経営形態の見直し (検討)の方向性 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 一部組合・広域連合	
	経営形態の見直しの概要 (注) 1.詳細は別途添付 2.具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 独立行政法人	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会を設置する場合その概要)	<input type="checkbox"/> 民間譲渡	<input type="checkbox"/> 診療所化	<input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外への事業形態への移行
	点検評価の時期 (毎年〇月頃等)	< 時期 >	< 内容 >	
その他特記事項				

(別紙1)

団体名(病院名)	千葉県 (千葉県がんセンター)
----------	--------------------

## 1. 収支計画(収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 医 業 収 益 a		7,189	7,933	8,455	8,964	8,979	8,993
	(1) 入 院 収 益		4,685	4,683	4,856	5,205	5,224	5,228
	(2) 外 来 収 益		2,375	3,110	3,476	3,612	3,626	3,636
	(3) そ の 他		129	140	123	148	129	129
	うち他会計負担金		0	0	0	0	0	0
	2. 医 業 外 収 益		2,164	2,166	2,282	2,356	2,356	2,356
	(1) 他 会 計 負 担 金・補 助 金		2,024	2,029	2,118	2,239	2,239	2,239
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金		46	16	10	11	11	11
	(3) そ の 他		94	121	154	106	106	106
	経 常 収 益 (A)		9,353	10,099	10,737	11,320	11,335	11,349
支 出	1. 医 業 費 用 b		9,118	9,571	10,171	10,771	10,580	10,591
	(1) 職 員 給 与 費 c		4,126	4,189	4,637	4,896	4,808	4,833
	(2) 材 料 費		2,747	3,092	3,214	3,468	3,466	3,465
	(3) 経 費		1,447	1,606	1,675	1,709	1,688	1,676
	(4) 減 価 償 却 費		740	617	584	630	565	565
	(5) そ の 他		58	66	62	68	52	52
	2. 医 業 外 費 用		154	190	211	192	187	189
	(1) 支 払 利 息		47	55	57	62	58	60
	(2) そ の 他		108	135	154	129	129	129
	経 常 費 用 (B)		9,272	9,761	10,382	10,962	10,766	10,780
経 常 損 益 (A) - (B) (C)		81	338	354	358	569	569	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)		0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)		0	0	0	0	0	0
	特 別 損 益 (D) - (E) (F)		0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C) + (F)		81	338	354	358	569	569	
累 積 欠 損 金 (G)								
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)							
	流 動 負 債 (イ)							
	うち一時借入金							
	翌 年 度 繰 越 財 源 (ウ)							
	当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 ま た は 未 発 行 の 額 (エ)							
差 引 不 良 債 務 (オ) {(イ) - (エ)} - {(ア) - (ウ)}								
経 常 収 支 比 率 (A) ÷ (B) × 100		100.9	103.5	103.4	103.3	105.3	105.3	
不 良 債 務 比 率 (オ) ÷ (a) × 100								
医 業 収 支 比 率 a ÷ b × 100		78.8	82.9	83.1	83.2	84.9	84.9	
職 員 給 与 対 医 業 収 益 比 率 (c) ÷ (a) × 100		57.4	52.8	54.8	54.6	53.5	53.7	
地 方 財 政 法 施 行 令 第 19 条 1 項 に よ り 算 定 し た 資 金 の 不 足 額 (H)								
資 金 不 足 比 率 (H) ÷ a × 100								
病 床 利 用 率		81.1	79.5	80.3	80.9	81.1	81.1	
職 員 給 与 費 の うち 退 職 給 与 金		148	179	136	271	170	195	

団体名(病院名)	千葉県 (千葉県がんセンター)
----------	--------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収入	1. 企業債	763	461	824	645	605	605
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	170	152	139	275	249	438
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	0	0	6	0	0	0
	7. その他	0	0	0	0	0	0
	収入計(a)	932	613	969	920	854	1,043
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額(b)						
	前年度許可債で当年度の借入分(c)						
純計(a)-[(b)+(c)](A)	932	613	969	920	854	1,043	
支出	1. 建設改良費	823	521	728	700	700	700
	2. 企業債償還金	236	212	360	468	474	854
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0
	支出計(B)	1,060	733	1,087	1,168	1,174	1,554
差引不足額(B)-(A)(C)	127	120	118	249	319	511	
補てん財源	1. 損益勘定留保資金						
	2. 利益剰余金処分類						
	3. 繰越工事資金						
	4. その他						
計(D)							
補てん財源不足額(C)-(D)(E)							
当年度同意等債で未借入 または未発行の額(F)							
実質財源不足額(E)-(F)							

20年度の収入のうち企業債には、前年度からの繰越分181百万円と借換分172百万円を含む。また、支出のうち建設改良費には、前年度からの繰越分184百万円を含み、企業債償還金には、繰上償還分172百万円を含む。

1. 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
2. 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収益的収支	( 56) 2,024	( 7) 2,029	( 9) 2,118	( 9) 2,239	( 9) 2,239	( 9) 2,239
資本的収支	( ) 170	( ) 152	( ) 139	( ) 275	( ) 249	( ) 438
合計	( 56) 2,194	( 7) 2,181	( 9) 2,257	( 9) 2,514	( 9) 2,489	( 9) 2,678

(注)

- 1 ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局通知)に基づき、他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

## 公立病院改革プランの概要

団 体 名		千葉県					
プランの名称		千葉県立病院改革プラン					
策 定 日		平成 年 月 日					
対 象 期 間		平成21年度 ~ 平成23年度					
病院の現状	病 院 名	千葉県救急医療センター					
	所 在 地	千葉県千葉市美浜区磯辺3-32-1					
	病 床 数	100床(うちICU20床)					
	診 療 科 目	循環器科、脳神経外科、内科、外科、整形外科、形成外科、心臓血管外科、麻酔科					
公立病院として今後果たすべき 役目 (注)詳細は別途添付		<p>県内救急医療の中核的施設として、今後その役割は、一層増すものと考えられており、県内唯一の高度救命救急センターとして、また、全県対応型救命救急センターとして、県全体の救急医療を支える最後の砦としての役割を担っていく。さらに、新たに救急医療の課題とされている県内救急医療機関のネットワーク化や救急情報の集約化を図る中心的役割(救急医療情報センター)を果たすこととしている。</p> <p>また、高度救命救急医療の機能を最大限に活用し、種々の災害(特に人的災害)に関する県の中心的災害医療センターとしての機能も担っていく。</p>					
一般会計における経費負担の 考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別途添付		<p>病院事業会計への繰入金は、総務省通知「地方公営企業繰入金について」に準拠しつつ、本県の特長(県行政の政策的経費等)を考慮し、財政当局と協議のうえ、基準を設けて一般会計から繰り入れを受けている。</p> <p>救急医療の確保に要する経費 病院の建設改良に要する経費 等</p>					
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備 考
	経 常 収 支 比 率	105.3	103.6	102.3	103.3	104.3	
	医 業 収 支 比 率	69.0	67.1	65.3	66.1	67.2	
	純 医 業 収 支 比 率	70.6	67.3	65.9	66.5	67.9	
	職 員 給 与 費 比 率	78.0	80.4	84.4	82.8	82.0	
	材 料 費 比 率	38.6	38.2	37.2	37.1	37.0	
	薬 品 費 比 率	13.8	13.7	13.0	13.0	12.9	
	経 費 比 率	20.1	21.7	23.0	22.5	21.9	
	減 価 償 却 費 比 率	7.7	8.1	7.9	8.1	7.3	
	繰 入 金 対 医 業 収 益	55.3	59.2	58.6	58.0	56.9	
	病 床 利 用 率	84.0	83.0	83.3	83.6	83.9	
	新 入 院 患 者 数	2,259	2,194	2,252	2,311	2,398	
	新 外 来 患 者 数	732	808	799	803	827	
	延 入 院 患 者 数	30,646	30,278	30,400	30,500	30,700	
	延 外 来 患 者 数	10,567	10,355	10,244	10,300	10,600	
	平 均 在 院 日 数	13.6	13.8	13.5	13.2	12.8	
	患 者 1 人 当 り 入 院 収 益	95,580	96,166	95,250	95,600	96,200	
	患 者 1 人 当 り 外 来 収 益	27,390	28,676	26,422	27,390	28,700	
1 日 平 均 入 院 患 者 数	83.7	83.0	83.3	83.6	83.9		
1 日 平 均 外 来 患 者 数	28.9	28.4	28.1	28.2	29.0		
上記目標数値設定の 考え方		<p>経常収支は黒字化しているため、引き続きこの水準を維持するよう努める。</p> <p>(経常黒字化の目標年度: 年度)</p>					

純医業収支比率は、一般会計繰入金や退職給与金など病院事業に直接関わらない、また年度間で変動が多く特殊要因となる収益や費用をそれぞれ総収益、総費用から除いた収支比率として、経営指標の一つとして考えているものです。 純医業収支比率 = (総収益 - 一般会計繰入金 - 特別利益) ÷ (総費用 - 退職給与金 - 特別損失) × 100

				団体名 (病院名)	千葉県 (千葉県救急医療センター)		
公立病院としての医療機能にか かる数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
常勤医師数		37	39	39	39	39	
手術件数		2,413	2,420	2,430	2,440	2,450	
救急車搬送件数		1,114	1,115	1,116	1,118	1,120	
紹介率		90.1	90.1	90.1	90.1	90.1	
クリニカルパス		5	6	6	7	7	
地域連携パス		0	2	4	6	6	
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	コンサルタントからレセプト作成方法について改善提案を受け、経営改善に活用していく。				
		事業規模・形態の見直し	施設の老朽化・陳腐化により、早急に建替えが必要である。なお、建替えに当たっては、病室の個室化を始めとして、現在はもちろん将来に向けての施設配置の考え方を取り入れ、病院機能の充実を図る。				
		経費削減・抑制対策	委託契約の見直し(一括契約、複数年契約等)により費用の削減を図る。医薬品・診療材料について、県立病院間での共同購入の拡大により費用の削減を図る。診療材料については、コンサルタント会社を導入して得た削減のノウハウを活かし、更なる節減に努める。				
		収入増加・確保対策	地域医療連携室を充実させるとともに、地域医療連携パスの活用により、平均在院日数を短縮し、新規受入れ患者の増加を図る。 当センターは緊急受診が多く個人負担医療費の未収金が発生しやすい状況にあるが、早期に患者さんの相談や保険の確認などを行うことで未収金の発生防止に努めるとともに、戸別訪問など積極的に催告を行い、未収金の回収につとめる。 ICU(集中治療室)の有効活用などにより、救急受入患者数の増加を図っていく。				
		その他	医師をはじめ医療従事者の研修・学会等への参加を積極的に促し、計画的な人材の育成を図ることで医療技術の向上に努め、経営基盤の強化を図る。				
各年度の収支計画		別紙1のとおり					
その他特記事項	病床利用率の状況	17年度	80.7 %	18年度	82.7 %	19年度	83.7 %
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況	適正なレベルの病床利用率 と考えるが、現在の施設は、施設や機能面での老朽化・陳腐化が著しく、大規模改修や修繕による対応では限界になっているので、その医療機能が十分に発揮できる建替計画の策定を進めていく。  ICUを除く病床利用率 H17 100.9% H18 103.4% H19 104.7%					

再編ネットワークに係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況		
	都道府県医療計画等における今後の方向性		
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1.詳細は別途添付 2.具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること	< 時期 >	< 内容 >
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所にて <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 一部組合・広域連合 <input type="checkbox"/> 独立行政法人
	経営形態の見直し (検討)の方向性 (該当箇所にて <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 診療所化	<input type="checkbox"/> 独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外への事業形態への移行
	経営形態の見直しの概要 (注) 1.詳細は別途添付 2.具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること	< 時期 >	< 内容 >
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会を設置する場合その概要)		
	点検評価の時期 (毎年〇月頃等)		
その他特記事項			

(別紙1)

団体名(病院名)

千葉県  
(千葉県救急医療センター)

## 1. 収支計画(収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 医 業 収 益 a		2,926	3,243	3,233	3,191	3,222	3,282
	(1) 入 院 収 益		2,666	2,929	2,912	2,896	2,916	2,953
	(2) 外 来 収 益		234	289	297	271	282	304
	(3) そ の 他		26	24	25	25	25	25
	うち他会計負担金		0	0	0	0	0	0
	2. 医 業 外 収 益		1,744	1,814	1,872	1,894	1,894	1,894
	(1) 他会計負担金・補助金		1,720	1,792	1,848	1,869	1,869	1,869
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金		0	0	0	0	0	0
	(3) そ の 他		24	22	24	26	26	26
	経 常 収 益 (A)		4,670	5,057	5,105	5,085	5,117	5,176
支 出	1. 医 業 費 用 b		4,337	4,701	4,821	4,889	4,873	4,885
	(1) 職 員 給 与 費 c		2,331	2,530	2,599	2,693	2,668	2,693
	(2) 材 料 費		1,114	1,252	1,235	1,188	1,196	1,215
	(3) 経 費		651	650	702	733	726	719
	(4) 減 価 償 却 費		221	249	261	253	262	238
	(5) そ の 他		20	21	24	22	21	20
	2. 医 業 外 費 用		136	103	107	82	79	78
	(1) 支 払 利 息		58	50	28	26	22	21
	(2) そ の 他		77	53	79	57	57	57
	経 常 費 用 (B)		4,472	4,804	4,928	4,971	4,952	4,963
経 常 損 益 (A) - (B) (C)		197	253	177	114	164	214	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)		0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)		0	0	0	0	0	0
	特 別 損 益 (D) - (E) (F)		0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C) + (F)		197	253	177	114	164	214	
累 積 欠 損 金 (G)								
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)							
	流 動 負 債 (イ)							
	うち一時借入金							
	翌 年 度 繰 越 財 源 (ウ)							
	当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 ま た は 未 発 行 の 額 (エ)							
差 引 不 良 債 務 (オ) {(イ) - (エ)} - {(ア) - (ウ)}								
経 常 収 支 比 率 (A) ÷ (B) × 100		104.4	105.3	103.6	102.3	103.3	104.3	
不 良 債 務 比 率 (オ) ÷ (a) × 100								
医 業 収 支 比 率 a ÷ b × 100		67.5	69.0	67.1	65.3	66.1	67.2	
職 員 給 与 対 医 業 収 益 比 率 (c) ÷ (a) × 100		79.6	78.0	80.4	84.4	82.8	82.0	
地 方 財 政 法 施 行 令 第 19 条 1 項 に よ り 算 定 し た 資 金 の 不 足 額 (H)								
資 金 不 足 比 率 (H) ÷ a × 100								
病 床 利 用 率		82.7	84.0	83.0	83.3	83.6	83.9	
職 員 給 与 費 の うち 退 職 給 与 金		46	181	92	91	66	91	

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 企業債	264	357	148	153	154	157
	2. 他会計出資金						
	3. 他会計負担金	223	226	219	260	172	191
	4. 他会計借入金						
	5. 他会計補助金						
	6. 国(県)補助金						
	7. その他	6	0	1	0	0	0
	収入計(a)	493	583	368	413	326	348
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額(b)						
	前年度許可債で当年度の借入分(c)						
	純計(a)-[(b)+(c)](A)	493	583	368	413	326	348
支 出	1. 建設改良費	278	190	175	180	181	184
	2. 企業債償還金	330	529	327	437	299	343
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0
	支出計(B)	608	719	502	616	480	527
差引不足額(B)-(A)(C)	115	135	134	203	155	179	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金						
	2. 利益剰余金処分量						
	3. 繰越工事資金						
	4. その他						
計(D)							
補てん財源不足額(C)-(D)(E)							
当年度同意等債で未借入 または未発行の額(F)							
実質財源不足額(E)-(F)							

19年度の収入のうち企業債には、借換分195百万円を含み、支出のうち企業債償還金には、繰上償還分195百万円を含む。

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収益的収支	( ) 1,720	( 10 ) 1,792	( 28 ) 1,848	( 28 ) 1,869	( 28 ) 1,869	( 28 ) 1,869
資本的収支	( ) 223	( ) 226	( ) 219	( ) 260	( ) 172	( ) 191
合計	( ) 1,942	( 10 ) 2,018	( 28 ) 2,068	( 28 ) 2,128	( 28 ) 2,040	( 28 ) 2,060

(注)

- ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局通知)に基づき、他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。



(様式3)

## 公立病院改革プランの概要

団 体 名		千葉県					
プ ラ ン の 名 称		千葉県立病院改革プラン					
策 定 日		平成 年 月 日					
対 象 期 間		平成 21 年度 ~ 平成 23 年度					
病院の現状	病 院 名	千葉県精神科医療センター					
	所 在 地	千葉市美浜区豊砂5					
	病 床 数	50床					
	診 療 科 目	精神科					
公立病院として今後果たすべき役目 (注)詳細は別途添付		精神保健福祉法により都道府県に設置が義務付けられた精神病院であり、全国でも例を見ない精神科救急に特化した短期集中治療型の病院として、本県の精神科救急医療システムにおける中心的医療施設の役割を担っていく。そして、良質な医療を迅速かつ的確に提供する体制の更なる充実を図り、本県唯一の精神科三次救急医療施設として増加する救急事例に対応することとしている。さらに、地域医療機関等との連携によるネットワークの構築やデイホスピタルの充実等により、退院後も継続して医療を提供する役割を有している。					
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別途添付		病院事業会計への繰入金は、総務省通知「地方公営企業繰入金について」に準拠しつつ、本県の実情(県行政の政策的経費等)を考慮し、財政当局と協議のうえ、基準を設けて一般会計から繰り入れを受けている。 精神病院の運営に要する経費 病院の建設改良に要する経費 等					
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経 常 収 支 比 率	117.5	114.4	115.3	115.5	114.9	
	医 業 収 支 比 率	81.3	80.1	79.2	79.5	79.1	
	純 医 業 収 支 比 率	82.1	81.3	80.1	80.3	80.3	
	職 員 給 与 費 比 率	77.2	76.7	77.6	79.1	80.0	
	材 料 費 比 率	26.4	27.0	25.8	25.8	25.7	
	薬 品 費 比 率	23.7	24.6	23.2	23.2	23.1	
	経 費 比 率	16.6	17.9	19.2	17.2	16.9	
	減 価 償 却 費 比 率	2.5	2.9	3.2	3.4	3.5	
	繰 入 金 対 医 業 収 益	47.0	43.6	45.5	45.4	45.2	
	病 床 利 用 率	96.3	95.8	95.9	95.9	96.4	
	新 入 院 患 者 数	462人	420人	435人	450人	465人	
	新 外 来 患 者 数	737人	600人	630人	650人	670人	
	延 入 院 患 者 数	17,628人	17,480人	17,500人	17,550人	17,600人	
	延 外 来 患 者 数	38,070人	36,550人	36,950人	37,000人	37,050人	
	平 均 在 院 日 数	38日	42日	40日	39日	38日	
	患 者 1 人 当 り 入 院 収 益	32,179円	34,048円	34,050円	34,060円	34,100円	
患 者 1 人 当 り 外 来 収 益	12,134円	12,630円	12,750円	12,770円	12,800円		
1 日 平 均 入 院 患 者 数	48.2人	47.9人	47.9人	48.0人	48.3人		
1 日 平 均 外 来 患 者 数	141.3人	135.9人	137.4人	137.5人	137.7人		
上記目標数値設定の考え方		経常収支は黒字化しているので、引き続きこの水準を維持するよう努める。  (経常黒字化の目標年度: 年度)					

純医業収支比率は、一般会計繰入金や退職給与金など病院事業に直接関わらない、また年度間で変動が多く特殊要因となる収益や費用をそれぞれ総収益、総費用から除いた収支比率として、経営指標の一つとして考えているものです。 純医業収支比率 = (総収益 - 一般会計繰入金 - 特別利益) ÷ (総費用 - 退職給与金 - 特別損失) × 100

				団体名 (病院名)	千葉県 (千葉県精神科医療センター)		
公立病院としての医療機能にか かる数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
常勤医師数		14人	14人	12人	13人	14人	
精神科救急医療システム通 報件数		3,200件	3,250件	3,300件	3,350件	3,400件	
精神科救急患者取扱件 数		1,224件	1,230件	1,240件	1,250件	1,260件	
土曜日外来延患者数		3,652人	3,500人	3,550人	3,600人	3,700人	
デイホスピタル延参加者数		8,437人	8,450人	8,500人	8,550人	8,600人	
家庭等訪問件数		612件	750件	800件	850件	850件	
電話相談件数		31,945件	32,200件	32,500件	32,800件	33,000件	
経営効率化に係る計画	数値目標達成に 向けての具体的 な取組及び実施 時期	民間的経営手法の導入 外来患者送迎のため、バスによる送迎を民間会社に委託している。					
	事業規模・形態の見直し	施設の老朽化・狭隘化により、早急に建替えが必要であり、この検討に合わせて 病床数の適正化などを図る。					
	経費削減・抑制対策	委託契約の見直し(一括契約、複数年契約等)により費用の削減を図る。 医薬品・診療材料について、県立病院間での共同購入の拡大により費用の削減 を図る。 全職員の共通認識のもとに、効率的な業務実施により、職員の時間外勤務の縮 減に努める。					
	収入増加・確保対策	診療報酬請求に係る研修の実施やレセプト請求の事前点検の徹底等により適切 な診療報酬請求を行い医業収益の確保を図る。 緊急受診が多く個人負担医療費の未収金が発生しやすい状況にあるが、早期に 患者さんの相談に乗ることで未収金の発生防止に努めるとともに、定期的に催告を 行い、未収金の回収につとめる。					
	その他	医師をはじめ医療従事者の研修・学会等への参加を積極的に促し、計画的な人 材の育成を図ることで医療技術の向上に努め、経営基盤の強化を図る。					
各年度の収支計画		別紙1のとおり					
その他特記事項	病床利用率の状況	17年度 98.0%		18年度 97.0%		19年度 96.3%	
	病床利用率の状況を踏 まえた病床数等の抜本 見直し、施設の増改築計 画の状況	適正なレベルの病床利用率と考えるが、現在の施設は、施設や機能面での老朽 化・狭隘化が著しく、大規模改修や修繕による対応では限界になっているので、その 医療機能が十分に発揮できる建替計画の策定を進めていく。					

再編ネットワークに係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況		
	都道府県医療計画等における今後の方向性		
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1.詳細は別途添付 2.具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること	< 時期 >	< 内容 >
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所は☑を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 独立行政法人
	経営形態の見直し (検討)の方向性 (該当箇所は☑を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 一部組合・広域連合
	経営形態の見直しの概要 (注) 1.詳細は別途添付 2.具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 民間譲渡	<input type="checkbox"/> 独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会を設置する場合その概要)	<input type="checkbox"/> 診療所化	<input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外への事業形態への移行
	点検評価の時期 (毎年〇月頃等)	< 時期 >	< 内容 >
その他特記事項			

(別紙1)

団体名(病院名)	千葉県 千葉県精神科医療センター
----------	---------------------

## 1. 収支計画(収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 医 業 収 益 a	996	1,040	1,067	1,077	1,080	1,084
	(1) 入 院 収 益	562	567	595	596	598	600
	(2) 外 来 収 益	426	462	462	471	472	474
	(3) そ の 他	8	11	10	10	10	10
	うち他会計負担金						
	2. 医 業 外 収 益	493	509	486	512	512	512
	(1) 他 会 計 負 担 金・補 助 金	472	489	465	490	490	490
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金	13	13	13	13	13	13
	(3) そ の 他	8	7	8	9	9	9
	経 常 収 益 (A)	1,489	1,549	1,553	1,589	1,592	1,596
支 出	1. 医 業 費 用 b	1,222	1,280	1,332	1,359	1,359	1,370
	(1) 職 員 給 与 費 c	759	803	818	836	854	867
	(2) 材 料 費	252	274	289	278	279	279
	(3) 経 費	181	173	191	207	186	183
	(4) 減 価 償 却 費	26	26	31	35	37	38
	(5) そ の 他	4	4	3	3	3	3
	2. 医 業 外 費 用	38	38	25	19	19	19
	(1) 支 払 利 息	28	26	5	7	7	7
	(2) そ の 他	10	12	20	12	12	12
	経 常 費 用 (B)	1,260	1,318	1,357	1,378	1,378	1,389
経 常 損 益 (A) - (B) (C)	229	231	196	211	214	207	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0	0	0
	特 別 損 益 (D) - (E) (F)	0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C) + (F)	229	231	196	211	214	207	
累 積 欠 損 金 (G)							
不 良 債 務	流 動 資 産 (P)						
	流 動 負 債 (I)						
	うち一時借入金						
	翌 年 度 繰 越 財 源 (ウ)						
	当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 ま た は 未 発 行 の 額 (I)						
差 引 不 良 債 務 (オ) {(I) - (I)} - {(P) - (ウ)}							
経 常 収 支 比 率 (A) ÷ (B) × 100	118.2	117.5	114.4	115.3	115.5	114.9	
不 良 債 務 比 率 (オ) ÷ (a) × 100							
医 業 収 支 比 率 a ÷ b × 100	81.5	81.3	80.1	79.2	79.5	79.1	
職 員 給 与 対 医 業 収 益 比 率 (c) ÷ (a) × 100	76.2	77.2	76.7	77.6	79.1	80.0	
地 方 財 政 法 施 行 令 第 19 条 1 項 に よ り 算 定 し た 資 金 の 不 足 額 (H)							
資 金 不 足 比 率 (H) ÷ a × 100							
病 床 利 用 率	97.0	96.3	95.8	95.9	95.9	96.4	
職 員 給 与 費 の うち 退 職 給 与 金	6	27	18	6	6	12	

団体名(病院名)	千葉県 (千葉県精神科医療センター)
----------	-----------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収入	1. 企業債	15	408	48	27	7	7
	2. 他会計出資金						
	3. 他会計負担金	27	29	37	38	40	46
	4. 他会計借入金						
	5. 他会計補助金						
	6. 国(県)補助金						
	7. その他	0	0	0	0	0	0
	収入計(a)	42	437	85	65	47	53
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額(b)						
	前年度許可債で当年度の借入分(c)						
純計(a)-[(b)+(c)](A)	42	437	85	65	47	53	
支出	1. 建設改良費	18	83	52	33	10	10
	2. 企業債償還金	39	369	53	52	60	74
	3. 他会計長期借入金返還金						
	4. その他						
	支出計(B)	57	452	105	85	70	84
差引不足額(B)-(A)(C)	15	15	20	20	23	31	
補てん財源	1. 損益勘定留保資金						
	2. 利益剰余金処分額						
	3. 繰越工事資金						
	4. その他						
計(D)							
補てん財源不足額(C)-(D)(E)							
当年度同意等債で未借入 または未発行の額(F)							
実質財源不足額(E)-(F)							

19年度の収入のうち企業債には、借換分328百万円を含み、支出のうち企業債償還金には、繰上償還分328百万円を含む。

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収益的収支	( ) 472	( 3 ) 489	( 7 ) 465	( 7 ) 490	( 7 ) 490	( 7 ) 490
資本的収支	( ) 27	( ) 29	( ) 37	( ) 38	( ) 40	( ) 46
合計	( ) 499	( 3 ) 518	( 7 ) 502	( 7 ) 528	( 7 ) 530	( 7 ) 536

(注)

- ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局通知)に基づき、他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

## 公立病院改革プランの概要

団 体 名		千葉県					
プ ラ ン の 名 称		千葉県立病院改革プラン					
策 定 日		平成 年 月 日					
対 象 期 間		平成 21年度 ~ 平成 23年度					
病院の現状	病 院 名	千葉県こども病院					
	所 在 地	千葉県千葉市緑区辺田町579-1					
	病 床 数	一般病床203床 (23年度 周産期医療病床 21床増床)					
	診 療 科 目	感染症科、新生児未熟児科、代謝科、内分泌科、遺伝科、血液・腫瘍科、腎臓科、アレルギー科、循環器科、神経科、精神科、小児救急総合診療科、小児外科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻いんこう科、形成外科、泌尿器科、心臓血管外科、歯科、麻酔科					
公立病院として今後果たすべき 役目 (注)詳細は別途添付		<p>全県的な小児医療の最後の砦として、一般の医療機関で対応困難な各種の新生児疾患や重度小児疾患等の高度専門的な治療を担っており、今後も、小児救急医療の弱体化している地域の支援も含め、全県的な小児医療ネットワークの中心的存在としての機能を果たすこととしている。</p> <p>そして、本県内には、新生児及び手術を必要とする小児患者に対応できる医療施設が少ないことから、特に新生児医療と外科的疾患に広く対応できる診療を担うこととしている。</p> <p>このうち新生児医療については、産科が無いために異常新生児搬送のリスク及び母子分離による家族不安が大きいことから、今後、胎児診断、周産期医療を含めた医療機能も担っていく。</p>					
一般会計における経費負担の 考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別途添付		<p>病院事業会計への繰入金は、総務省通知「地方公営企業繰入金について」に準拠しつつ、本県の特長(県行政の政策的経費等)を考慮し、財政当局と協議のうえ、基準を設けて一般会計から繰り入れを受けている。</p> <p>小児医療に要する経費 病院の建設改良に要する経費 等</p>					
経営 効率 化 に 係 る 計 画	財務に係る数値目標(主な もの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備 考
	経 常 収 支 比 率	101.1	104.1	100.9	102.1	102.7	
	医 業 収 支 比 率	74.2	76.3	74.5	75.4	75.0	
	純 医 業 収 支 比 率	73.1	75.1	74.0	74.8	74.4	
	給 与 費 比 率	75.1	72.3	74.1	73.0	74.6	
	材 料 費 比 率	32.1	31.7	30.3	30.1	29.9	
	薬 品 費 比 率	23.3	23.6	22.3	22.1	21.8	
	経 費 比 率	20.3	20.8	22.3	22.1	21.9	
	減 価 償 却 費 比 率	6.7	5.8	7.0	6.9	6.6	
	繰入金対医業収益	40.7	40.9	39.0	38.7	40.3	
	病床利用率(%)	73.7	74.0	74.9	75.7	73.3	
	新入院患者数(人)	3,472	3,700	3,750	3,800	4,075	
	新外来患者数(人)	4,781	5,000	5,100	5,200	5,300	
	延入院患者数(人)	54,771	54,800	55,500	56,090	60,065	
	延外来患者数(人)	73,711	74,200	75,020	75,100	75,400	
	平均在院日数	14.7	12.6	12.4	12.2	12.2	
	患者1人当たり入院収益(円)	61,000	68,537	68,575	68,600	67,834	
患者1人当たり外来収益(円)	15,117	16,784	16,863	16,870	16,900		
1日平均入院患者数(人)	150	150	152	154	164		
1日平均外来患者数(人)	251	253	256	256	256		
上記目標数値設定の 考え方		<p>引き続き新規患者の受入拡大に努め、病床利用率の向上を目指すとともに、経費等を節減して収支の改善を図る。</p> <p>なお、23年度に周産期医療を開始するため、これを加味した数値目標としているが、採算性が低いいため各種の数値目標に影響を与えている。</p>					

純医業収支比率は、一般会計繰入金や退職給与金など病院事業に直接関わらない、また年度間で変動が多く特殊要因となる収益や費用をそれぞれ総収益、総費用から除いた収支比率として、経営指標の一つとして考えているものです。 純医業収支比率 = (総収益 - 一般会計繰入金 - 特別利益) ÷ (総費用 - 退職給与金 - 特別損失) × 100

				団体名 (病院名)	千葉県(千葉県こども病院)			
公立病院としての医療機能にか かる数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考	
常勤医師数		59	63	63	63	65		
手術件数		1,586	1,883	1,950	2,030	2,200		
救急車搬送件数		823	787	811	835	859		
紹介率		93.6	88.3	89.3	90.3	91.3		
連携登録医数		365	365	370	375	380		
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入						
		事業規模・形態の見直し	周産期医療機能を付加するため、建物を増築し増床を行う。					
		経費削減・抑制対策	委託契約の見直し(一括契約、複数年契約等)により費用の削減を図る。 医薬品・診療材料について、県立病院間での共同購入の拡大により費用の削減を図る。 小児専門病院として特有の多数の輸液・シリンジポンプなどは、院内集中管理により効率的な使用を図り、購入費や保守料の削減に努める。 電子カルテの導入など病院のIT化により業務の効率化を図り、コストの節減を進める。					
		収入増加・確保対策	小児科麻酔科医の確保・拡充を進めるとともに、手術室の業務体制を見直し、より効率的・効果的な手術を実施することで手術件数を増加させ、収入増加を図る。 病床の効率的な運用により病床利用率の向上を図る。特に、感染症患者対策として4床室の一部を個室化し収入の増加を図る。 地域医療支援病院として、登録医の拡大に取り組むほか、小児科等を標榜する診療所・病院に対して、ダイレクトメールや公開カンファレンス等を活用して「こども病院」の役割・機能を積極的にPRし、紹介患者の増加を図る。 増大する救急医療需要へ対応するために設置した救急総合診療科を核として、救急患者の積極的な受け入れを行い、患者数の増加を図る。 早期に患者さんの相談に乗ることで未収金の発生防止に努めるとともに、定期的な催告を行い、未収金の回収につとめる。					
		その他	医師をはじめ医療従事者の研修・学会等への参加を積極的に促し、計画的な人材の育成を図ることで医療技術の向上に努め、経営基盤の強化を図る。					
各年度の収支計画		別紙1のとおり						
その他特記事項	病床利用率の状況	17年度	81.3%	18年度	81.1%	19年度	73.7%	
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況	23年度に周産期医療21床を増築し、病院全体で224床とする。						

再編ネットワークに係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況			
	都道府県医療計画等における今後の方向性			
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1.詳細は別途添付 2.具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること	<時期>	<内容>	
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に☑を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 独立行政法人
	経営形態の見直し (検討)の方向性 (該当箇所に☑を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 一部組合・広域連合	
	経営形態の見直しの概要 (注) 1.詳細は別途添付 2.具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること	<input type="checkbox"/> 民間譲渡	<input type="checkbox"/> 診療所化	<input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外への事業形態への移行
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会を設置する場合その概要)			
	点検評価の時期 (毎年〇月頃等)			
その他特記事項				



## 1. 収支計画(収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 医 業 収 益 a		4,865	4,478	5,026	5,096	5,140	5,373
	(1) 入 院 収 益		3,700	3,341	3,756	3,806	3,848	4,074
	(2) 外 来 収 益		1,139	1,114	1,245	1,265	1,267	1,274
	(3) そ の 他		26	23	25	25	25	25
	うち他会計負担金		0	0	0	0	0	0
	2. 医 業 外 収 益		1,930	1,845	2,077	2,011	2,011	2,185
	(1) 他 会 計 負 担 金 ・ 補 助 金		1,812	1,822	2,056	1,989	1,989	2,163
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金		0	0	0	0	0	0
	(3) そ の 他		118	23	21	22	22	22
	経 常 収 益 (A)		6,795	6,323	7,103	7,107	7,151	7,558
支 出	1. 医 業 費 用 b		6,055	6,035	6,589	6,838	6,815	7,164
	(1) 職 員 給 与 費 c		3,208	3,365	3,633	3,778	3,753	4,007
	(2) 材 料 費		1,535	1,437	1,593	1,544	1,546	1,604
	(3) 経 費		884	907	1,044	1,138	1,138	1,175
	(4) 減 価 償 却 費		398	298	292	356	356	356
	(5) そ の 他		30	28	27	22	22	22
	2. 医 業 外 費 用		487	217	234	208	188	196
	(1) 支 払 利 息		159	151	145	144	124	132
	(2) そ の 他		328	66	89	64	64	64
	経 常 費 用 (B)		6,542	6,252	6,823	7,046	7,003	7,360
経 常 損 益 (A) - (B) (C)		253	71	280	61	148	198	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)		0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)		0	0	0	0	0	0
	特 別 損 益 (D) - (E) (F)		0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C) + (F)		253	71	280	61	148	198	
累 積 欠 損 金 (G)								
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)							
	流 動 負 債 (イ)							
	うち一時借入金							
	翌 年 度 繰 越 財 源 (ウ)							
	当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 ま た は 未 発 行 の 額 (エ)							
差 引 不 良 債 務 (オ) {(イ) - (エ)} - {(ア) - (ウ)}								
経 常 収 支 比 率 (A) ÷ (B) × 100		103.9	101.1	104.1	100.9	102.1	102.7	
不 良 債 務 比 率 (オ) ÷ (ア) × 100								
医 業 収 支 比 率 a ÷ b × 100		80.3	74.2	76.3	74.5	75.4	75.0	
職 員 給 与 対 医 業 収 益 比 率 (c) ÷ (a) × 100		65.9	75.1	72.3	74.1	73.0	74.6	
地 方 財 政 法 施 行 令 第 19 条 1 項 に よ り 算 定 し た 資 金 の 不 足 額 (H)								
資 金 不 足 比 率 (H) ÷ a × 100								
病 床 利 用 率		81.8	73.7	74.0	74.9	75.7	73.3	
職 員 給 与 費 の うち 退 職 給 与 金		67	96	106	127	102	108	

## 2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 企業債		152	383	234	258	1,019	201
	2. 他会計出資金		0	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金		232	201	190	314	243	270
	4. 他会計借入金		0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金		0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金		0	0	0	0	0	0
	7. その他		1	1	0	0	0	0
	収入計(a)		385	585	424	572	1,262	471
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額(b)							
	前年度許可債で当年度の借入分(c)							
純計(a)-[(b)+(c)](A)		385	585	424	572	1,262	471	
支 出	1. 建設改良費		170	421	260	299	1,060	243
	2. 企業債償還金		348	287	282	511	366	415
	3. 他会計長期借入金返還金		0	0	0	0	0	0
	4. その他		0	0	0	0	0	0
	支出計(B)		518	708	542	810	1,426	658
差引不足額(B)-(A)(C)		133	123	118	238	164	187	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金							
	2. 利益剰余金処分量							
	3. 繰越工事資金							
	4. その他							
計(D)								
補てん財源不足額(C)-(D)(E)								
当年度同意等債で未借入 または未発行の額(F)								
実質財源不足額(E)-(F)								

20年度の収入のうち企業債には、借換分7百万円を含み、支出のうち企業債償還金には、繰上償還分7百万円を含む。また、22年度は、周産期病棟を増築するため、企業債(809百万円)及び建設改良費(809百万円)が増加する。

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収益的収支	( ) 1,812	( 11) 1,822	( 17) 2,056	( 17) 1,989	( 17) 1,989	( 17) 2,163
資本的収支	( ) 232	( ) 201	( ) 190	( ) 314	( ) 243	( ) 270
合計	( ) 2,044	( 11) 2,023	( 17) 2,246	( 17) 2,303	( 17) 2,232	( 17) 2,433

(注)

- ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局通知)に基づき、他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

## 公立病院改革プランの概要

団 体 名	千葉県						
プ ラ ン の 名 称	千葉県立病院改革プラン						
策 定 日	平成 年 月 日						
対 象 期 間	平成21年度 ~ 平成23年度						
病院の現状	病 院 名	千葉県循環器病センター					
	所 在 地	千葉県市原市鶴舞575					
	病 床 数	一般病床220床					
	診 療 科 目	循環器科・心臓血管外科・神経内科・脳神経外科・内科・外科・小児科・整形外科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・歯科・リハビリテーション科・麻酔科・呼吸器科					
公立病院として今後果たすべき役目 (注)詳細は別途添付	<p>現在、心臓病、脳卒中に代表される循環器病に対する高度医療の提供と、地域医療の提供を併せて行っているが、特に、全県を対象とした特殊な心疾患や脳血管疾患の診断と治療など、高度かつ先進的な循環器病センターとしての医療を提供する役割を担っていく。</p> <p>また、当該保健医療圏を超えた他の医療圏における脳卒中や心筋梗塞など急性期(救急)の循環器病患者の受け入れ強化は、今後の果たすべき大きな役割である。</p>						
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別途添付	<p>病院事業会計への繰入金は、総務省通知「地方公営企業繰入金について」に準拠しつつ、本県の実情(県行政の政策的経費等)を考慮し、財政当局と協議のうえ、基準を設けて一般会計から繰り入れを受けている。</p> <p>高度医療に要する経費 病院の建設改良に要する経費 等</p>						
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経 常 収 支 比 率	90.9	88.1	90.3	91.7	95.2	
	医 業 収 支 比 率	75.9	72.0	74.6	76.0	76.6	
	純 医 業 収 支 比 率	75.0	70.5	73.3	74.1	75.2	
	職 員 給 与 比 率	61.0	63.8	60.6	59.6	59.5	
	材 料 費 比 率	34.1	34.0	33.6	33.5	33.4	
	薬 品 費 率	13.1	12.9	12.8	12.7	12.7	
	経 費 比 率	20.7	23.1	22.5	21.7	21.4	
	減 価 償 却 費 比 率	15.1	17.4	16.6	16.2	15.9	
	支 払 利 息 比 率	5.9	6.1	5.5	5.1	4.8	
	繰 入 金 対 医 業 収 益	25.4	27.6	26.4	25.8	29.4	
	病 床 利 用 率	80.9	78.5	81.8	83.7	84.4	
	新 入 院 患 者 数	4,235	3,848	4,027	4,329	4,436	
	新 外 来 患 者 数	10,104	8,788	9,062	9,696	9,948	
	延 入 院 患 者 数	65,108	63,008	65,685	67,222	67,955	
	延 外 来 患 者 数	98,672	85,816	88,489	94,676	97,136	
	平 均 在 院 日 数	14.5	15.4	15.0	14.5	14.3	
	患 者 1 人 当 り 入 院 収 益	68,287	68,944	71,401	70,647	70,826	
患 者 1 人 当 り 外 来 収 益	7,733	7,668	8,080	8,260	8,298		
1 日 平 均 入 院 患 者 数	177.9	172.6	180.0	184.2	185.7		
1 日 平 均 外 来 患 者 数	432.3	348.8	361.2	393.8	403.8		
上記目標数値設定の考え方	<p>当センターは1㎡当りの建設単価が他県立病院よりもかなり高額であり、建築資金の財源は、ほとんど全てが企業債となっており、建物減価償却費及び企業債支払利息などが多くなっている。そのため、計画期間中は赤字になると考えられるが、により平成 年度については黒字化が達成できるよう計画した。</p> <p>(経常黒字化の目標年度:平成 年度)</p>						

純医業収支比率は、一般会計繰入金や退職給与金など病院事業に直接関わらない、また年度間で変動が多く特殊要因となる収益や費用をそれぞれ総収益、総費用から除いた収支比率として、経営指標の一つとして考えているものです。 純医業収支比率 = (総収益 - 一般会計繰入金 - 特別利益) ÷ (総費用 - 退職給与金 - 特別損失) × 100

				団体名 (病院名)	千葉県 (千葉県循環器病センター)		
公立病院としての医療機能にかかる数値 目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
常勤医師数(人)		45.5	45.0	46.0	48.0	48.0	
手術件数(件)		815	930	950	965	975	
救急車搬送件数		1,578	1,426	1,468	1,696	1,802	
救急患者受入数(人)		3,304	2,660	2,695	2,886	2,975	
要入院救急患者受入数(人)		1,300	1,194	1,229	1,420	1,509	
紹介率(%)		35.7	37.0	40.0	45.0	50.0	
数値目標達成に向けての 具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	検査科業務の効率的な運用を図るため、FMS( )の導入を検討する。 FMS(Facility Managed System):検査技師、およびそのスペースは病院側より提供されるが、分析装置、試薬や消耗品などのランニングコスト、および検査部運用のノウハウは受託する「検査センター」が負担する方式。					
	事業規模・形態の見直し						
	経費削減・抑制対策	委託契約の見直し(一括契約、複数年契約等)により費用の削減を図る。 医薬品・診療材料について、県立病院間での共同購入の拡大により費用の削減を図る。診療材料については、コンサルタント会社を導入して得た削減のノウハウを活かし、更なる節減に努める。 電子カルテと物流システムを連携させることにより、診療材料等の在庫管理を適正に行うことで、購入数量の軽減に努め、経費の削減を図る。					
	収入増加・確保対策	CCU・SCUについて平成21年度より2床の運用を新たに開始し、救急隊との連携強化(脳卒中ホットライン)に努め、救急患者の受入体制を強化する。 平成21年度より、集中治療室と一般病棟及び手術室などの連携を強化し受入体制を整えることで、患者数の増加を図る。 脳卒中地域医療連携パスの作成など、地域における病病・病診連携をさらに強化し、紹介率・逆紹介率を高め、平均在院日数の短縮及び病床利用率の向上を目指す。 電子カルテと物流システムを連携させることにより、経営分析を行うとともに、診療報酬の請求漏れ等を極力減らし収入増加を図る。 千葉県内のみならず近隣都県医大等へも働きかけることで、医師・看護師や医療技術者の確保を図る。 早期に患者さんの相談に乗ることで未収金の発生防止に努めるとともに、定期的な催告を行い、未収金の回収につとめる。					
	その他	医師をはじめ医療従事者の研修・学会等への参加を積極的に促し、計画的な人材の育成を図ることで医療技術の向上に努め、経営基盤の強化を図る。 総務省基準では、高度医療に要する経費は繰り出しの対象であるが、当センターの場合は地域医療も行っているため、開設から当時の病床割合(高度医療6:地域医療4)で積算されていることから、実態である高度医療8:地域医療2の割合に則した繰入金増額について、23年度を目途に財政当局と協議している。					
各年度の収支計画							
その他特記事項	病床利用率の状況	17年度	81.2%	18年度	81.1%	19年度	80.9%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況						

再編ネットワークに係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況			
	都道府県医療計画等における今後の方向性			
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1.詳細は別途添付 2.具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること	< 時期 >	< 内容 >	
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 独立行政法人
	経営形態の見直し (検討)の方向性 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 一部組合・広域連合	
	経営形態の見直しの概要 (注) 1.詳細は別途添付 2.具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること	<input type="checkbox"/> 民間譲渡	<input type="checkbox"/> 診療所化	<input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外への事業形態への移行
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制(委員会を設置する場合その概要)			
	点検評価の時期 (毎年〇月頃等)			
その他特記事項				

(別紙1)

団体名(病院名)

千葉県  
(千葉県循環器病センター)

## 1. 収支計画(収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 医 業 収 益 a		5,356	5,303	5,089	5,498	5,626	5,714
	(1) 入 院 収 益		4,388	4,446	4,344	4,690	4,749	4,813
	(2) 外 来 収 益		871	763	658	715	782	806
	(3) そ の 他		97	94	87	93	95	95
	うち他会計負担金		0	0	0	0	0	0
	2. 医 業 外 収 益		1,393	1,381	1,486	1,485	1,485	1,713
	(1) 他 会 計 負 担 金・補 助 金		1,339	1,348	1,407	1,453	1,453	1,681
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金		0	0	0	0	0	0
	(3) そ の 他		54	33	79	32	32	32
	経 常 収 益 (A)		6,749	6,684	6,575	6,983	7,111	7,427
支 出	1. 医 業 費 用 b		6,971	6,988	7,064	7,366	7,401	7,464
	(1) 職 員 給 与 費 c		3,087	3,236	3,247	3,334	3,350	3,401
	(2) 材 料 費		1,911	1,806	1,730	1,847	1,885	1,908
	(3) 経 費		1,165	1,098	1,178	1,237	1,220	1,220
	(4) 減 価 償 却 費		782	801	884	911	910	906
	(5) そ の 他		26	47	25	37	36	29
	2. 医 業 外 費 用		414	369	402	366	352	338
	(1) 支 払 利 息		324	315	308	303	289	275
	(2) そ の 他		90	54	94	63	63	63
	経 常 費 用 (B)		7,385	7,357	7,466	7,732	7,753	7,802
経 常 損 益 (A) - (B) (C)		636	673	891	749	642	375	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)		0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)		0	0	0	0	0	0
	特 別 損 益 (D) - (E) (F)		0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C) + (F)		636	673	891	749	642	375	
累 積 欠 損 金 (G)								
不 良 債 務	流 動 資 産 (P)							
	流 動 負 債 (I)							
	うち一時借入金							
	翌 年 度 繰 越 財 源 (U)							
	当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 ま た は 未 発 行 の 額 (I)							
差 引 不 良 債 務 (オ) {(I) - (I)} - {(P) - (U)}								
経 常 収 支 比 率 (A) ÷ (B) × 100		91.4	90.9	88.1	90.3	91.7	95.2	
不 良 債 務 比 率 (オ) ÷ (a) × 100								
医 業 収 支 比 率 a ÷ b × 100		76.8	75.9	72.0	74.6	76.0	76.6	
職 員 給 与 対 医 業 収 益 比 率 (c) ÷ (a) × 100		57.6	61.0	63.8	60.6	59.5	59.5	
地 方 財 政 法 施 行 令 第 19 条 1 項 に よ り 算 定 し た 資 金 の 不 足 額 (H)								
資 金 不 足 比 率 (H) ÷ a × 100								
病 床 利 用 率		81.1	80.9	78.5	81.8	83.7	84.4	
職 員 給 与 費 の うち 退 職 給 与 金		118	246	135	189	114	164	

団体名(病院名)	千葉県 (千葉県循環器病センター)
----------	----------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 企業債	235	514	240	344	124	242
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	466	470	434	488	531	544
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	0	0	0	0	0	0
	7. その他	0	0	0	0	0	0
	収入計(a)	701	984	674	832	655	786
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額(b)	6	0				
	前年度許可債で当年度の借入分(c)						
純計(a)-[(b)+(c)](A)	695	984	674	832	655	786	
支 出	1. 建設改良費	251	619	262	367	162	260
	2. 企業債償還金	705	704	653	755	823	863
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0
	支出計(B)	956	1,323	915	1,122	985	1,123
差引不足額(B)-(A)(C)	261	339	241	290	330	337	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金						
	2. 利益剰余金処分類						
	3. 繰越工事資金						
	4. その他						
	計(D)						
補てん財源不足額(C)-(D)(E)							
当年度同意等債で未借入 または未発行の額(F)							
実質財源不足額(E)-(F)							

- 1.複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 2.金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収益的収支	( 2) 1,339	( 8) 1,348	( 16) 1,407	( 16) 1,453	( 16) 1,453	( 16) 1,681
資本的収支	( ) 466	( ) 470	( ) 434	( ) 488	( ) 531	( ) 544
合計	( ) 1,805	( 9) 1,818	( 16) 1,841	( 16) 1,941	( 16) 1,984	( 16) 2,225

(注)

- 1 ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局通知)に基づき、他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

## 公立病院改革プランの概要

団 体 名		千葉県					
プ ラ ン の 名 称		千葉県立病院改革プラン					
策 定 日		平成 21 年 月 日					
対 象 期 間		平成 21 年度 ~ 平成 23 年度					
病 院 の 現 状	病 院 名	千葉県立東金病院					
	所 在 地	千葉県東金市台方1229					
	病 床 数	平成20年4月1日より60床で稼働、許可病床数191床(一般179床、結核12床)					
	診 療 科 目	内科、小児科、外科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科					
公立病院として今後果たすべき 役目 (注)詳細は別途添付		<p>県保健医療計画に基づき、新たな地域医療提供体制の枠組みが整うまで、可能な限り医療機能の整備を図り、救急医療などへの対応を充実させていくとともに、地域における中核的病院としてプライマリ・ケアから専門医療まで幅広い医療を提供していく役割も担っていく。特に、糖尿病治療について、循環型地域医療連携システムを充実していく中で、その推進役としての役割も担っていく。</p> <p>さらに、県立病院として、次世代の医療を担う優秀な若手医師などの育成確保に努めていく必要があり、地域医療といった現場での人材育成も担っていく。</p>					
一般会計における経費負担の 考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別途添付		<p>病院事業会計への繰入金は、総務省通知「地方公営企業繰入金について」に準拠しつつ、本県の特性(県行政の政策的経費等)を考慮し、財政当局と協議のうえ、基準を設けて一般会計から繰り入れを受けている。</p> <p>小児医療に要する経費 救急医療の確保に要する経費 病院の建設改良に要する経費 等</p>					
経 営 効 率 化 に 係 る 計 画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備 考
	経常収支比率	84.1	70.4	77.1	80.0	83.5	
	医業収支比率	66.4	53.2	60.8	63.7	67.0	
	純医業収支比率	67.4	57.2	62.7	66.5	69.9	
	職員給与費率	77.0	97.3	84.0	83.0	80.2	
	材料費比率	25.8	25.6	20.8	23.0	22.7	
	薬品費比率	14.8	17.9	14.7	16.2	16.0	
	経費比率	38.2	51.7	49.3	43.0	39.9	
	減価償却費比率	9.2	12.7	9.5	7.2	6.0	
	繰入金対医業収益	28.4	33.5	28.1	27.0	26.0	
	病床利用率	88.2	73.3	88.1	88.4	88.3	
	新入院患者数	1,916	1,630	1,680	1,690	1,700	
	新外来患者数	7,094	5,800	6,300	6,650	7,000	
	延入院患者数	24,471	16,047	19,298	19,349	19,401	
	延外来患者数	61,462	45,750	48,962	52,150	54,731	
	平均在院日数	12.6	11.4	11.3	11.3	11.2	
	患者一人当たり入院収益	36,939	33,900	33,492	33,503	33,512	
	患者一人当たり外来収益	12,323	14,601	14,298	14,505	14,715	
	1日平均入院患者数	66.9	44.0	52.9	53.0	53.0	
1日平均外来患者数	209	188	202	215	224		
上記目標数値設定の考え方		<p>医師確保の状況からみて黒字化は困難な状況にあるので、赤字幅を縮小する方向で目標設定を行った。</p> <p>なお、病床数については、現在の稼働病床である60床で目標数値を設定してある。</p> <p>(経常黒字化の目標年度: 年度)</p>					

純医業収支比率は、一般会計繰入金や退職給与金など病院事業に直接関わらない、また年度間で変動が多く特殊要因となる収益や費用をそれぞれ総収益、総費用から除いた収支比率として、経営指標の一つとして考えているものです。 純医業収支比率 = (総収益 - 一般会計繰入金 - 特別利益) ÷ (総費用 - 退職給与金 - 特別損失) × 100



				団体名 (病院名)	千葉県 (千葉県立東金病院)		
公立病院としての医療機能にか かる数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
常勤医師数		12	9	12	12	12	
手術件数		443	100	110	110	120	
救急患者搬送件数		834	540	620	700	700	
紹介率		27.5	29.4	30.0	30.4	32.0	
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入					
		事業規模・形態の見直し					
		経費削減・抑制対策	患者数に見合った職員数や経費の適正化を図る 委託契約の見直し(一括契約、複数年契約等)により費用の削減を図る 医薬品・診療材料について、県立病院間での共同購入の拡大により費用の削減を図る				
		収入増加・確保対策	診療所との連携による紹介入院患者の増加や当院への患者が少ない地域等への効果的な広報による患者の増加に努める 早期に患者さんの相談に乗ることで未収金の発生防止に努めるとともに、定期的な催告を行い、未収金の回収につとめる 教育・研修機能の強化による若手医師の確保に努め、収入の増加を図る				
		その他	医師をはじめ医療従事者の研修・学会等への参加を積極的に促し、計画的な人材の育成を図ることで医療技術の向上に努め、経営基盤の強化を図る				
各年度の収支計画		別紙1のとおり					
その他特記事項	病床利用率の状況	17年度 68.0%	18年度 67.2%	19年度 88.2%			
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況	病床は、医師の確保状況(すなわち入院患者)に応じた適切な病床数とするが、本計画ではこの期間中の病床数は60床稼働としている。					

団体名 (病院名)	千葉県 (千葉県立東金病院)
--------------	-------------------

再編ネットワークに係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	東陽病院、国保成東病院、国保大網病院、公立長生病院、国保国吉病院	
	都道府県医療計画等における今後の方向性	二次保健医療圏で完結する一般的な地域医療については、地域の実情を踏まえた医療提供体制を整備していく必要があることから、地域の民間病院や市町村等が担うことが重要。 県立病院が担ってきた地域完結型の一般医療については、地域の自治体等が中心となり、新たな医療提供体制の枠組みへの再構築を進めることとする。 再構築に当たっては、国の[公立病院改革ガイドライン]等を勘案して、地域の自治体病院等の再編・ネットワーク化を進める。県は、これまで県立病院が担ってきた地域医療の水準が後退しないよう十分に配慮し、こうした地域の自治体等の取組を積極的に支援していく。	
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1.詳細は別途添付 2.具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること	< 時期 >  平成21年1月  平成21年度  平成25年中目途	< 内容 > 東金市、九十九里町において、地域医療の核となる医療センター(314床)の設置を検討。なお、県からは、建設等について支援する予定  東金市、九十九里町、千葉大学、県・地区医師会、県健康福祉部、病院局、関係機関からなる[1市1町地域医療センター検討協議会]を設置  今後、センターの診療機能、事業主体等について検討する予定  1市1町地域医療センター開設時に東金病院の医療機能を当センターへ引き継ぐ予定
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 独立行政法人 <input type="checkbox"/> 一部組合・広域連合
	経営形態の見直し (検討)の方向性 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 民間譲渡	<input type="checkbox"/> 独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度
	経営形態の見直しの概要 (注) 1.詳細は別途添付 2.具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること	< 時期 >	< 内容 > <input type="checkbox"/> 診療所化 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外への事業形態への移行
点検・評価等	点検・評価・公表等の体制 (委員会を設置する場合その概要)		
	点検評価の時期 (毎年〇月頃等)		
その他特記事項			

(別紙1)

団体名(病院名)

千葉県  
(千葉県立東金病院)

## 1. 収支計画(収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収入	1. 医 業 収 益 a		1,639	1,674	1,219	1,352	1,410	1,461
	(1) 入 院 収 益		880	904	544	646	648	650
	(2) 外 来 収 益		744	757	668	700	756	805
	(3) そ の 他		15	13	7	6	6	6
	うち他会計負担金		0	0	0	0	0	0
	2. 医 業 外 収 益		512	495	429	390	391	391
	(1) 他 会 計 負 担 金 ・ 補 助 金		500	476	404	380	380	380
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金		0	0	0	0	0	0
	(3) そ の 他		12	19	25	10	11	11
	経 常 収 益 (A)		2,151	2,169	1,648	1,742	1,801	1,852
支出	1. 医 業 費 用 b		2,786	2,522	2,290	2,222	2,213	2,182
	(1) 職 員 給 与 費 c		1,411	1,289	1,185	1,136	1,171	1,171
	(2) 材 料 費		433	432	312	282	324	332
	(3) 経 費		773	639	629	667	607	583
	(4) 減 価 償 却 費		163	154	155	128	102	87
	(5) そ の 他		6	8	9	9	9	9
	2. 医 業 外 費 用		49	58	51	36	38	37
	(1) 支 払 利 息		26	22	18	10	12	11
	(2) そ の 他		23	36	33	26	26	26
	経 常 費 用 (B)		2,835	2,580	2,341	2,258	2,251	2,219
経 常 損 益 (A) - (B) (C)		684	411	693	516	450	367	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)		0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)		0	0	0	0	0	0
	特 別 損 益 (D) - (E) (F)		0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C) + (F)		684	411	693	516	450	367	
累 積 欠 損 金 (G)								
不良債務	流 動 資 産 (ア)							
	流 動 負 債 (イ)							
	うち一時借入金							
	翌 年 度 繰 越 財 源 (ウ)							
	当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 ま た は 未 発 行 の 額 (エ)							
差 引 不 良 債 務 (オ) {(イ) - (エ)} - {(ア) - (ウ)}								
経 常 収 支 比 率 (A) ÷ (B) × 100		75.9	84.1	70.4	77.1	80.0	83.5	
不 良 債 務 比 率 (オ) ÷ (a) × 100								
医 業 収 支 比 率 a ÷ b × 100		58.8	66.4	53.2	60.8	63.7	67.0	
職 員 給 与 対 医 業 収 益 比 率 (c) ÷ (a) × 100		86.1	77.0	97.2	84.0	83.0	80.2	
地 方 財 政 法 施 行 令 第 19 条 1 項 に よ り 算 定 し た 資 金 の 不 足 額 (H)								
資 金 不 足 比 率 (H) ÷ a × 100								
病 床 利 用 率								
職 員 給 与 費 の うち 退 職 給 与 金		83	69	168	88	113	113	

団体名(病院名)	千葉県 (千葉県立東金病院)
----------	-------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 企業債		51	102	186	34	35	35
	2. 他会計出資金							
	3. 他会計負担金		152	132	109	93	49	41
	4. 他会計借入金							
	5. 他会計補助金							
	6. 国(県)補助金							
	7. その他							
	収入計(a)		203	234	295	127	84	76
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額(b)							
	前年度許可債で当年度の借入分(c)							
純計(a)-[(b)+(c)](A)		203	234	295	127	84	76	
支 出	1. 建設改良費		54	95	63	50	50	50
	2. 企業債償還金		151	138	223	117	87	74
	3. 他会計長期借入金返還金		80	80	80	30	30	30
	4. その他							
	支出計(B)		285	313	366	197	167	154
差引不足額(B)-(A)(C)		82	79	71	70	83	78	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金							
	2. 利益剰余金処分量							
	3. 繰越工事資金							
	4. その他							
計(D)								
補てん財源不足額(C)-(D)(E)								
当年度同意等債で未借入 または未発行の額(F)								
実質財源不足額(E)-(F)								

19年度の収入のうち企業債には、借換分18百万円を含み、支出のうち企業債償還金には、繰上償還分18百万円を含む。また、20年度の収入のうち企業債には、借換分135百万円を含み、支出のうち企業債償還金には、繰上償還分135百万円を含む。

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収益的収支	( 49) 500	( 43) 476	( 47) 404	( 49) 380	( 49) 380	( 49) 380
資本的収支	( ) 152	( ) 132	( ) 109	( ) 93	( ) 49	( ) 41
合計	( ) 652	( ) 608	( ) 513	( ) 473	( ) 429	( ) 421

(注)

- ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局通知)に基づき、他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

## 公立病院改革プランの概要

団 体 名		千葉県					
プ ラ ン の 名 称		千葉県立病院改革プラン					
策 定 日		平成 年 月 日					
対 象 期 間		平成 21 年度 ~ 平成 23 年度					
病院の現状	病 院 名	千葉県立佐原病院					
	所 在 地	千葉県香取市佐原イ2,285					
	病 床 数	241床(うち結核4床、人間ドック10床)					
	診 療 科 目	内科、呼吸器科、消化器科、神経内科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、小児外科、泌尿器科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、女性専用外来、健康管理センター(人間ドック)					
公立病院として今後果たすべき役目 (注)詳細は別途添付		<p>県保健医療計画に基づき、新たな地域医療提供体制の枠組みが整うまでは、その医療機能の充実を図り、救急基幹センターとして365日、24時間体制で救急患者の受入れを行う役割などを担っていく。</p> <p>そして、成人疾患として罹患率の高いがん(特に消化器がん)、骨折などの整形外科疾患等、地域のニーズに応えられる医療の提供などとともに訪問看護、訪問診療も実施し、当病院の役割を果たしていく。</p>					
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別途添付		<p>病院事業会計への繰入金は、総務省通知「地方公営企業繰入金について」に準拠しつつ、本県の特性(県行政の政策的経費等)を考慮し、財政当局と協議のうえ、基準を設けて一般会計から繰り入れを受けている。</p> <p>救急医療の確保に要する経費 病院の建設改良に要する経費 等</p>					
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率(%)	82.3	89.7	89.9	93.3	96.2	
	医業収支比率(%)	71.1	76.8	77.7	80.9	83.9	
	純医業収支比率(%)	71.5	76.2	78.3	80.5	84.1	
	職員給与費比率(%)	75.3	73.0	70.9	69.9	68.1	
	材料費比率(%)	30.7	24.5	23.4	22.6	21.7	
	薬品費率(%)	21.3	14.8	14.5	13.9	13.3	
	経費比率(%)	24.5	23.3	25.5	22.2	20.9	
	減価償却費比率(%)	10.0	9.2	8.6	8.6	8.2	
	繰入金対医業収益	18.9	20.0	18.6	18.2	17.5	
	病床利用率(%)	83.5	84.8	84.5	85.5	89.2	
	新入院患者数(人)	2,819	2,950	2,900	3,000	3,150	
	新外来患者数(人)	15,299	15,200	15,200	15,700	16,000	
	延入院患者数(人)	60,846	63,127	62,921	63,693	66,612	
	延外来患者数(人)	102,017	103,395	104,422	108,220	109,950	
	平均在院日数(日)	18.8	17.5	17.5	17.5	17.0	
	百床当り職員数(人)	114.1	112.7	111.3	110.8	112.3	
	患者1人当たり入院収益(円)	31,809	35,040	38,724	38,795	38,972	
	患者1人当たり外来収益(円)	9,220	7,409	7,373	7,420	7,450	
1日平均入院患者数(人)	166	173	172	175	182		
1日平均外来患者数(人)	416	429	430	445	451		
上記目標数値設定の考え方	<p>計画期間中の黒字化は困難であると考えながら、医業収益の増収を図るとともに、経費等を節減して平成 年度には黒字化が達成できるよう目標設定をしている。</p> <p>病床数については、現在の稼働病床である204床で目標数値を設定している。</p> <p>(経常黒字化の目標年度: 年度)</p>						

純医業収支比率は、一般会計繰入金や退職給与金など病院事業に直接関わらない、また年度間で変動が多く特殊要因となる収益や費用をそれぞれ総収益、総費用から除いた収支比率として、経営指標の一つとして考えているものです。 純医業収支比率 = (総収益 - 一般会計繰入金 - 特別利益) ÷ (総費用 - 退職給与金 - 特別損失) × 100

				団体名 (病院名)	千葉県 (千葉県立佐原病院)		
公立病院としての医療機能にかか る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考	
	常勤医師数(人)	19	18	19	20	21	
	手術件数(件)	819	900	920	950	980	
	救急患者取り扱い件数	6,171	6,000	6,100	6,200	6,300	
	訪問看護実施数(在宅訪 問患者数)	1,148	1,150	1,180	1,200	1,220	
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての 具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	平成19年度から民間より事務局長を採用し、民間の知恵を導入した効率的運営、経営改善を行っている。				
		事業規模・形態の見直し	人間ドックの効率的運営を図る。				
		経費削減・抑制対策	オペラマスターを導入してOP室の業務改善を図ることにより、人件費の削減並びに人材の有効活用を図る。 入院外来電子カルテシステム開始により業務の効率化を行い、費用の削減を図る。 委託契約の見直し(一括契約、複数年契約等)により費用の削減を図る。 医薬品・診療材料について、県立病院間での共同購入の拡大により費用の削減を図る。				
		収入増加・確保対策	平成19年度よりDPC準備病院、平成21年度DPC認定病院を取得して、効率的な運営による収益増を図る。 脳外科医師を増員し、千葉県内でんかん手術ができる施設として機能を充実させ、患者確保を図る。また、医師を確保して、入院患者数の増加による収益増を図る。 早期に患者さんの相談に乗ることで未収金の発生防止に努めるとともに、定期的な催告を行い、未収金の回収に努める。				
		その他	佐原病院ホームページの全面リニューアルによって患者の確保や職員の確保を図る。 院内各委員会の全面見直しを行い、「医療の質向上委員会」、「チーム医療運営委員会」、「職員の資質向上委員会」を新たに設置する。 地域医療連携室の機能を強化して、地域医療機関並びに患者の医療相談、情報提供に心がけ、患者増に結びつける。 医師をはじめ医療従事者の研修・学会等への参加を積極的に促し、計画的な人材の育成を図ることで医療技術の向上に努め、経営基盤の強化を図る。				
各年度の収支計画		別紙1のとおり					
その他特記事項	病床利用率の状況	17年度 85.0%(227床) 18年度 77.5%(220床) 19年度 83.5%(199床)					
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況	今後は、病床利用率の動向を見ながら稼働病床数の増床について検討する。					

団体名  
(病院名)

千葉県  
(千葉県立佐原病院)

再編ネットワークに係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	国保小見川総合病院、国保多古中央病院、国保東庄病院、国保旭中央病院、国保匝瑳市民病院		
	都道府県医療計画等における今後の方向性	二次保健医療圏で完結する一般的な地域医療については、地域の実情を踏まえた医療提供体制を整備していく必要があることから、地域の民間病院や市町村等が担うことが重要。 県立病院が担ってきた地域完結型の一般医療については、地域の自治体等が中心となり、新たな医療提供体制の枠組みへの再構築を進めることとする。 再構築に当たっては、国の[公立病院改革ガイドライン]等を勘案して、地域の自治体病院等の再編・ネットワーク化を進める。県は、これまで県立病院が担ってきた地域医療の水準が後退しないよう十分に配慮し、こうした地域の自治体等の取組を積極的に支援していく。		
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1.詳細は別途添付 2.具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること	< 時期 >	< 内容 > 香取市 (H18.3.27合併) においては、県立佐原病院と、国保小見川総合病院 (組合立: 香取市、東庄町) の2つの病院がある。 県立佐原病院及び国保小見川総合病院の再編ネットワーク化については、今後協議する予定となっている。	
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 独立行政法人
	経営形態の見直し (検討)の方向性 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 一部組合・広域連合	
	経営形態の見直しの概要 (注) 1.詳細は別途添付 2.具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 独立行政法人	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制(委員会を設置する場合その概要)	<input type="checkbox"/> 民間譲渡	<input type="checkbox"/> 診療所化	<input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外への事業形態への移行
	点検評価の時期 (毎年〇月頃等)	< 時期 >	< 内容 >	
その他特記事項				

## 1. 収支計画(収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収	1. 医 業 収 益 a		3,041	2,978	3,081	3,314	3,382	3,523
	(1) 入 院 収 益		2,019	1,935	2,212	2,436	2,471	2,596
	(2) 外 来 収 益		915	941	766	770	803	819
	(3) そ の 他		107	102	103	108	108	108
	うち他会計負担金							
入	2. 医 業 外 収 益		604	575	628	626	626	626
	(1) 他会計負担金・補助金		592	564	618	617	617	617
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金							
	(3) そ の 他		12	11	10	9	9	9
経 常 収 益 (A)			3,645	3,553	3,709	3,940	4,008	4,149
支	1. 医 業 費 用 b		4,271	4,188	4,011	4,266	4,183	4,200
	(1) 職 員 給 与 費 c		2,212	2,244	2,248	2,349	2,365	2,399
	(2) 材 料 費		958	915	756	775	765	765
	(3) 経 費		772	729	717	845	750	735
	(4) 減 価 償 却 費		323	297	284	284	290	288
	(5) そ の 他		6	3	6	13	13	13
	2. 医 業 外 費 用		147	128	125	118	114	111
	(1) 支 払 利 息		108	104	100	90	91	88
	(2) そ の 他		39	24	25	28	23	23
	経 常 費 用 (B)			4,418	4,316	4,136	4,384	4,297
経 常 損 益 (A) - (B) (C)			773	763	427	444	289	162
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)							
	2. 特 別 損 失 (E)							
	特 別 損 益 (D) - (E) (F)							
純 損 益 (C) + (F)			773	763	427	444	289	162
累 積 欠 損 金 (G)								
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)							
	流 動 負 債 (イ)							
	うち一時借入金							
	翌 年 度 繰 越 財 源 (ウ)							
	当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 ま た は 未 発 行 の 額 (エ)							
差 引 不 良 債 務 (オ) {(イ) - (エ)} - {(ア) - (ウ)}								
経 常 収 支 比 率 (A) ÷ (B) × 100			82.5	82.3	89.7	89.9	93.3	96.2
不 良 債 務 比 率 (オ) ÷ (ア) × 100								
医 業 収 支 比 率 a ÷ b × 100			71.2	71.1	76.8	77.7	80.9	83.9
職 員 給 与 対 医 業 収 益 比 率 (c) ÷ (a) × 100			72.7	75.3	73.0	70.9	69.9	68.1
地方財政法施行令第19条1項に より算定した資金の不足額 (H)								
資 金 不 足 比 率 (H) ÷ a × 100								
病 床 利 用 率			75.1	83.5	84.8	84.5	85.5	89.2
職 員 給 与 費 の うち 退 職 給 与 金			115	138	80	137	86	112



団体名(病院名)	千葉県(千葉県立佐原病院)
----------	---------------

## 2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 企業債		93	98	180	146	225	248
	2. 他会計出資金							
	3. 他会計負担金		154	140	126	175	127	152
	4. 他会計借入金							
	5. 他会計補助金							
	6. 国(県)補助金							
	7. その他							
	収入計(a)		247	238	306	321	352	400
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額(b)							
	前年度許可債で当年度の借入分(c)							
純計(a)-[(b)+(c)](A)		247	238	306	321	352	400	
支 出	1. 建設改良費		120	120	64	150	250	276
	2. 企業債償還金		216	204	321	297	203	251
	3. 他会計長期借入金返還金							
	4. その他							
	支出計(B)		336	324	385	447	453	527
差引不足額(B)-(A)(C)		89	86	79	126	101	127	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金							
	2. 利益剰余金処分数額							
	3. 繰越工事資金							
	4. その他							
計(D)								
補てん財源不足額(C)-(D)(E)								
当年度同意等債で未借入 または未発行の額(F)								
実質財源不足額(E)-(F)								

20年度の収入のうち企業債には、借換分136百万円を含み、支出のうち企業債償還金には、繰上償還分136百万円を含む。

1. 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
2. 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度
収益的収支	( 5) 592	( 4) 564	( 3) 618	( 4) 617	( 4) 617	( 4) 617
資本的収支	( ) 154	( ) 140	( ) 126	( ) 175	( ) 127	( ) 152
合計	( 5) 746	( 4) 704	( 3) 744	( 4) 792	( 4) 744	( 4) 769

(注)

- 1 ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局通知)に基づき、他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。